

■お客様個々の使い方に対応した
座、肘クッションへのこだわり



①肘クッションと座クッションの固定



お客様の生活スタイルは、千差万別です。
足を伸ばしてごろ寝したり、肘を抱きかかえてくつろぎたいお客様にとっては、肘クッションを簡単に着脱出来た方が便利です。
肘クッションをめったに着脱しないお客様にとっては、肘クッションがずれ無い様肘が座クッションと固定されている方が安心です。
お客様のスタイルの違いで肘クッションでも違いが出てきます。

A：肘固定マジックテープ

頻繁に肘クッションを着脱される場合は、日頃から
Aを外してご使用ください

■肘クッションと座クッションは、ファスナーとマジックテープで固定しているので肘 着脱派と固定派 双方に対応できるよう工夫しています。

③カバーの前ズレを少しでも少なくする為に

一般的なカバーリングソファの座クッションは、座ってくつろぎ姿勢（お尻を前面にずらしてくつろぐ）をとると座カバーがだんだん前方にズレてしまいます（カバーが回ってしまう）。

カバーズレが気になるお客様は、頻繁にカバーのズレを補正しないといけません。

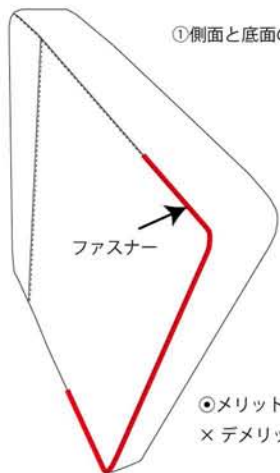


■ヌードクッションとカバーを固定するマジックテープ

■レヴィ-タ座クッションカバーは、カバーズレを少なくするために座クッションヌードとカバーを固定するマジックテープが付いています

②カバーの着脱をより簡単にする為に

●一般的な座クッションのファスナー位置



①側面と底面の継ぎ目にファスナー

ファスナー

◎メリット：製造コストがダウンする
×デメリット：カバーの着脱がかなり大変

●レヴィ-タの座クッションのファスナー位置



①座側面中央にファスナー
②座前近くまでファスナーあり

◎メリット：カバーの着脱がとても簡単
×デメリット：製造コストがアップする

■コスト（手間と布使用料）がアップしますが、カバーの着脱が女性でも簡単にできるようにファスナー位置を座側面中央でできるだけ長いファスナーを取り付けています。

④座クッションのローテーションが可能

ソファの左右クッションの座る頻度は、テレビ位置や座る方の利き手の関係で自然と左右のクッションに座る頻度に差がついてきます。
レヴィ-タ座クッションは、高密度ウレタンを使用していますが使用頻度の差で多少の硬さの差は現れます。
左右のクッションをローテーションすれば良いのですが肘クッションと座クッションをファスナーで固定するタイプの場合は、ファスナーの向きの関係で左右をローテーションするとファスナー向きが合わなくなり接合できません。



ファスナー受マジックテープ

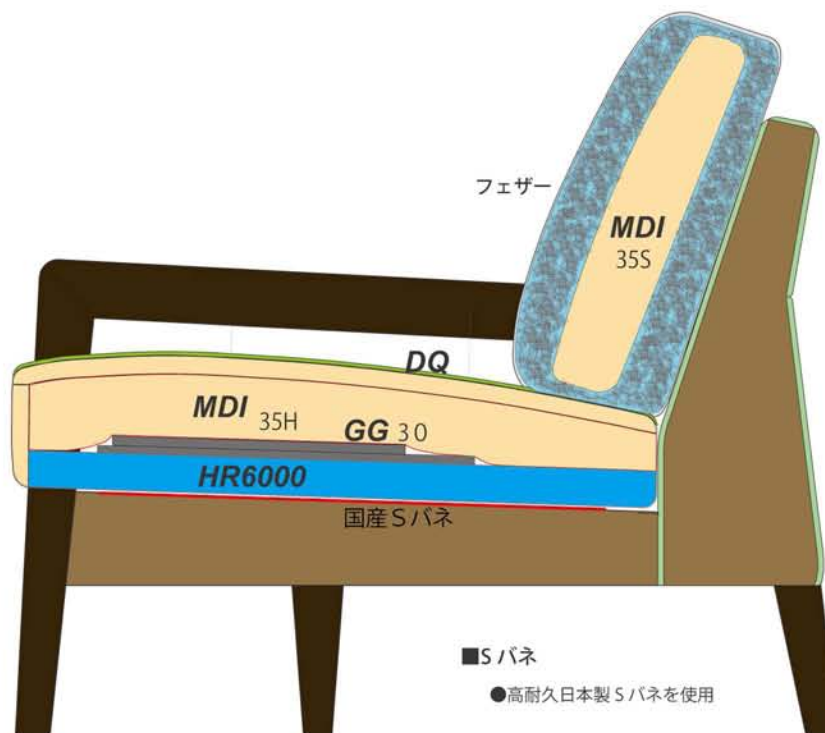
■レヴィ-タ座クッション底部には、肘と固定できる状態でローテーションができるよう座クッションの左右にファスナーを受けるマジックテープを取り付けています



■肘クッション
フェザー & MDI 35S



■座クッション



■高密度ウレタン積層構造

- MDIウレタン：高密度でいて低硬度の高級感あふれるラバーライクウレタン35H(ハード)で優れた耐圧分散性があるため、長時間座っていても疲れにくく快適さを持続します。モールドウレタンと同原料を使用しているため耐久性が高く、燃えにくい特性があります。
- HR6000チップウレタン：高密度ウレタンの端材を再生したワンランク上のチップウレタンです。
- GG：座中心部の山(膨らみ)を出す高密度30ウレタン
- DQウレタン：一般的に樹脂面を使用する箇所に特殊ウレタンを使用。樹脂面では、どうしても発生する綿ズレを解消する為、樹脂面の代わりに使用しています。
- カバーズレ防止仕様と座クッション左右入れ替え仕様(別紙にて詳細説明)

■背クッション

■肘クッション



■ウレタンインフェザー

保温性、防湿性、通気性にすぐれたフェザー素材でつくられた袋の中側に柔らかいウレタンフォームをインサートしたクッションで型崩れしにくい構造です。

- フェザーを包む袋素材
通気性ウィ保ちつつ、ファザーの飛び出しを極力抑えるダウンブーフ加工布を使用。
- フェザー袋内部
フェザーが偏らないよう内部で分割されズレ防止加工がされています。
- フェザー：洗浄と完全防虫加工されています。
- ウレタン：一般的ウレタンよりより高密度なMDIウレタンのソフトタイプ35Sを使用。

■肘木部を外さないと搬入が厳しい場合、別注にて座裏着脱仕様に变更できます。

